

鳥飼地区のにぎわいと安全安心の拠点

鳥飼地区河川防災ステーション  
整備始まる



国土交通省が3月25日に「鳥飼地区河川防災ステーション」の整備計画を登録したことを受け、同月30日、市と近畿地方整備局が「鳥飼地区河川防災ステーション整備計画登録伝達・確認書締結式」を行いました。

大阪府、京都府を合わせた淀川河川事務所管内で第一号となる当ステーションは、災害発生時の

復旧活動拠点として、また平時には、にぎわいの創出や地域の防災意識の向上に向けた施設として期待されています。

鳥飼地域は、淀川の想定最大規模の浸水想定区域図で、ほぼ全域が浸水エリアとなっており、浸水した場合は2週間以上、浸水が継続する想定されています。

森山一正市長は「この4月から、河川防災ステーションの整備が始まることに感謝します。本市では、水害が発生しても、市民の命を守る浸水しない避難場所などを造る、高台まちづくりを進めており、同ステーションはその核となることを期待しております。今後、国土交通省、淀川河川事務所と強固な連携を取り、地域の安全・安心のまちづくりの一大拠点となるよう、取り組んでいきます。」と決意を述べました。

市長に答申

鳥飼まちづくり  
グランドデザイン答申

3月30日に、「鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会」から森山市長に対して、鳥飼地域のまちづくりのビジョンを示す「鳥飼まちづくりグランドデザイン（素案）」の答申書が提出されました。

同グランドデザインは、現在実施しているパ



▲答申書を提出する梅村仁委員長

ブリックコメントを経て、策定する予定です。

魅力をぎゅっと詰め込み！

市の名所 新幹線公園  
パンフレット作成



本市のシティブロモーションとして重要な役割を果たす新幹線公園の魅力や、より多くの人に分かりやすく伝えるために、公園の概要などを掲載したパンフレットを作成しました。

多くの人に手に取ってもらうため、パンフレットの形にこだわり、切り抜きの新幹線型にしました。内容についても、写真やイラストを多く取り入れ、子どもから大人まで楽しめる「まちがいがし」を掲載しました。

「見て楽しい！」をコンセプトに作り上げたので、ぜひ一度手に取ってご覧ください。

パンフレットは、新幹線公園（車両公開時のみ）や市役所5階・水みどり課のほか市役所各窓口に設置しています。